

地方創生推進交付金活用事業に係る実施結果報告

資料4

NO.	交付対象事業の名称	区分	事業費実績	本事業における重要業績評価指標 (KPI)			委員評価			委員質問・指摘事項等	委員質問・指摘事項等に対する対応		
			単位：千円	指標	平成29年度目標	平成29年度実績	実績	改善点	総合評価				
1	DMOによる広域観光連携	推進 (平成28～32年度)	30,707	指標① 石巻圏DMO協力団体数 22団体 (平成32年度における団体数)	16団体	47団体	○	○	B	①DMOについて、DMO法人ができて1年で観光客入込数が357万を超える実績となったのは何が勝因か。 ②KPIの設定に工夫が必要であると思われる。観光客入込数はより正確な数を取るべきではないか。 ③DMO設立後のDMO法人としての売り上げはいくらか。 ④DMOが何に向かって何をしようとしているのか、あまりよく見えてこない。観光協会との違いはどこか。金華山の観光連盟とは、観光の前線にいてもよくわからない。 ○何気ない日々が素晴らしい観光資源となると思うので、地域の良さを掘り起こし、その情報発信や売り込みを頑張ってください。	①観光客入込数については、2市1町の合計となっています。石巻市は7万人、東松島市は16万人の増加となり、女川町は8,000人の減少となりました。石巻市の増加の要因としては、リボンアート・フェスティバルで225,000人という入込数がありました。ただ単純に、225,000人が増加とならないのは、一昨年はポケモンGOのイベントで10万人増えていたが、昨年はそれを行っていないため減少し、更に昨年はイベントの日に雨天が多く、それに伴い例年よりも各イベントの入込数が減少していることによるものです。東松島市や女川町は街並みが綺麗になったことや、東松島市については東松島市夏まつりと航空祭が2日連続開催になったことにより増加傾向にあります。 指標③の観光客入込数は、DMOができたから300万人の観光客を呼び込んだということではなく、これまでも石巻圏域にはおおよそこのくらいの人々が来ているだろうという推測されている統計値があります。各施設やイベントの推測値を積み上げた数字がここに載っているものです。DMOができたから目標値の100.2%に達したというわけではないと考えております。 ②宮城県観光統計調査における観光客入込数を基に算出しておりますが、より正確な把握をすべく、コンテンツ毎の照会回答率を高めるように努めます。 ③昨年1年間の法人としての売り上げは2,500円ですが、これは旅行業の資格取得が遅れたことによるものであり、今年度はサイクルイベントなどの収入で約2,000千円、またレンタサイクルの収入で約3,000千円を予算上見込んでいます。 ④昨年度法人が定めた観光戦略により、 (1)つなげる：圏域に訪れる者の周遊を促進し、多様な体験ができる観光スタイルを提案 (2)呼び込む：マーケティングを基に観光ニーズを踏まえ、観光誘致を促進する。また、圏域でビジネスを展開する人材や企業の誘致も行う。 (3)創りぞだてる：圏域の自然資源、歴史文化等を活かしながら、時代のニーズをくみ取り、新しい魅力を付与しながら観光コンテンツや物産等を創出する。 上記(1)～(3)の基本方針を基に具体的な事業展開を図ります。 石巻観光協会との大きな違いは、圏域の観光事業者のみならず、様々な業態について観光コンテンツの開発によって地域の稼ぐ力を育てること、それを活かした旅行商品等の造成などが挙げられます。 また、金華山観光連盟とは、南三陸・金華山地域の観光振興を目的に、昭和54年4月に石巻市、雄勝町、牡鹿町、石巻商工会議所、女川町並びに各観光協会などで設立された任意団体であり、県内外における観光・物産PR事業等を実施していましたが、石巻圏周遊観光促進協議会の設立に伴い、同協議会に事業を継承し平成24年度をもって解散しております。		
			指標② 連携自治体数 6自治体 (平成32年度における団体数)	3自治体	3自治体								
			指標③ 観光客入込数 9,610,000人 (平成32年度における観光客入込数)	3,570,000人	3,577,275人								
2	自治体広域連携による「ローカルベンチャー」推進事業～10市町村連携による起業家型人材育成・マッチング・事業成長支援～	推進 (平成28～32年度)	59,931	指標① ローカルベンチャーによる売上規模 490,000千円 (5年間累計)	40,000千円	27,200千円	○	○	B	①総合戦略の移住関係の事業で2,700万円、その中で移住コンシェルジュがローカルベンチャーに参加しているという説明があり、推進交付金のローカルベンチャー推進事業で5,993万円の事業費がかかっているが、これら事業の関係性が分からない。 ②総合戦略の移住関係事業とローカルベンチャー推進事業のそれぞれの実績として示された数値は別々のもの考えていいのか。 ③KPIの設定をもう少し上げてはどうか。 ④一部の人達だけの事業になっていないか。ローカルベンチャー推進事業そのものは、これからの石巻に希望を運ぶ事業である。コンソーシアムをもっと多くの企業や団体で組織し、石巻内部での協議や議論を拡大してほしい。現状ではわかりにくすぎる。 ○震災後ETICのイベントに参加したことがあるが、すごい人達だなと感心した。地域の住民の力が不可欠であると思うので、行政と連携し長く続くことを願う。	①ローカルベンチャー推進事業は、石巻市独自だけでは、都市部からの移住定住を進められないということで、同じ意志を持つ10自治体による協議会を設立し、そのチームで首都圏で様々なPR活動等をしております。総合戦略の移住コンシェルジュ等の移住事業は石巻市が単独で行っている事業であります。 ②移住定住という大きい目標を目指して、総合戦略で説明した石巻市単独で取組んでいる事業とローカルベンチャーのチームを組んで取組んでいる事業があります。これら事業の実績としてあげている数字は別々のものです。ただし、将来的には総合戦略という移住者であったり、ローカルベンチャーのマッチング者であるという状況が発生することもあります。 ③KPIの引き上げについては、事業を進めて3年目であることから、今後の発展度や事業拡大の状況を見据えたくて判断してまいります。 ④本市が進めているローカルベンチャー事業は、起業家を育成する事業であり、他業種で組織するコンソーシアムで進めることが必要な場合もあります。 また、ローカルベンチャー事業の推進にコンソーシアムを組織せず、既存事業者や資金確保のための関係機関と連携することもあります。今後、ローカルベンチャー事業を進める中では、関係機関や組織等、コンソーシアムにこだわらず、連携できるように協議を進めてまいります。		
			指標② 新規事業創出数 11件 (5年間累計)	1件	7件								
			指標③ 起業型・経営型人材の地域への マッチング数 25人 (5年間累計)	5人	6人								
合計			90,638										

※1 本交付金を活用した事業については、平成30年7月11日及び7月24日に「石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」を開催し、評価検証を実施
 ※2 地方創生推進交付金は地方版総合戦略に基づき、自治体の自主的・主体的で先導的な事業を支援することとされており、平成28年度から32年度までが交付対象となっている。

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）活用事業に係る実施結果報告

資料5

NO.	地方創生応援税制対象事業	事業費実績額 単位：千円	寄附実績額	本事業における重要業績評価指標（KPI）			委員評価			委員質問・指摘事項等	委員質問・指摘事項等に対する対応
				指標	平成29年度目標	平成29年度実績	実績	改善点	総合評価		
1	奨学金返還支援事業	6,712	1,100	指標 看護師、保健師、社会福祉の専門的職業の有効求人倍率（常用フルタイム、H31年3月）1.50以下	1.90	3.70	○	○	B	再掲：総合戦略NO. 18で評価検証	
2	創業支援補助事業	8,947	1,100	指標 創業・第二創業件数（H27年度～H31年度累計）95件	19件	21件	◎	○	A	再掲：総合戦略NO. 21で評価検証	
3	複合文化施設整備事業	103,750	1,000	指標 イベント開催時（通年）の入込客数30万人	—	—	○	○	B	<p>①複合文化施設が建設された後の年間維持費が3億円かかると何かで見たが、その位かかって大丈夫なのか。</p> <p>②ホールの座席について、前の座席と後ろの座席が狭い。せめて小ホールだけでも前の人の頭があまり近くない間隔をとってもらいたい。座っている人の前を歩ける程度にってもらいたい。万が一の時に、太った人でもスムーズに避難できるようにしてもらいたい。</p> <p>③生涯学習ゾーンは必要なのか。研修室や和室がある施設は複数ある中で、同じような施設はどうか。遊学館でも416席あるのに、小ホール300席は少ないのではないかと。全面ガラス張りでも演技者の声は聞こえるが、子どもが泣いても外に声が漏れないような親子室を作ってほしい。</p> <p>○出来上がるのが楽しみ。うまく運用し、人々が集う場所として他施設とのつながりを有効にできる道路整備を期待する。</p> <p>○進行管理に少しの遅延があるものの、ほぼ順調な事業実施が図られているとのことで、完成が楽しみである。</p> <p>○ビックバンが予約でいっぱいなため、早期完成を望む。</p>	<p>①遊学館の経費を参考に1㎡あたりの単価を計算し、複合文化の経費を計算すると、指定管理を含めてほしい3億円くらいかかるといふ、あくまでも概算であります。これから精査していくこととなりますが、だいたいその程度になると考えております。</p> <p>②旧市民会館等の座席スペースは狭かったと思いますが、今回の複合文化施設では他の新設ホール同様、ゆったりとしたスペースが確保できるスタンダードな座席配置を採用しております。また、座席の配列は千鳥配列（前列の人と人の間に後列の座席がくるよう交互に配置する様式）を採用し、見えやすい仕様になっております。</p> <p>③被災解体した旧文化センター及び市民会館相当数の生涯学習ゾーンであり、市街地の公共施設の観点からも必要と考え、市民懇談会や市民ワークショップにおいても了承されております。また、ホールの座席数においても、小ホール300席、大ホール1,254席に加え、大ホールの中ホール利用（2階席を大型カーテンで仕切るもの）で812席を用意し、フレキシブルな利用に対応できるものと考えております。なお、大ホールには親子室2室を設置する設計となっております。</p>
合計		119,409	3,200								

※1 企業版ふるさと納税を活用した事業については、平成30年7月11日及び7月24日に「石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」を開催し、評価検証を実施